

初心者向けNotionの使い方 導入メリット・活用法・料金を紹介

米澤聡

2022.01.19 (最終更新: 2022.01.29)

Notionの導入メリットと各料金プランごとに使える機能

👍 Notionの導入メリット

1 複数の社内ツールをまとめられる

ツール間をまたがず情報を整理でき、毎月のシステム利用費も削減できる

2 やりたいことをそのままのイメージで実現できる

ホームページのようなものを、HTMLを知らなくても直感的に作ることも可能

3 欲しい情報にすぐたどりつける

必要なファイルやデータを探すためのコミュニケーションの数を減らせる

パーソナル

Free

個人向け

- ・ ページ数とブロック数が無制限
- ・ 5人のゲストとの共有
- ・ デバイス間での同期
- ・ API

パーソナルPro

\$4

月額/毎年請求

パーソナルプランのすべての機能に加えて

- ・ 無制限のファイルアップロード
- ・ 無制限のゲスト
- ・ 30日間のバージョン履歴

チーム

\$8

月額/1ユーザー
毎年請求

パーソナルプランProのすべての機能に加えて

- ・ 無制限のチームメンバー
- ・ 同時編集が可能
- ・ 共有許可
- ・ 管理者向け機能

エンタープライズ

問い合わせ

チームプランのすべての機能に加えて

- ・ SAML SSO
- ・ ユーザープロビジョニング (SCIM)
- ・ 高度なセキュリティ設定
- ・ 無制限のバージョン履歴
- ・ 専任のサクセスマネージャー
- ・ カスタム契約

Notionの導入メリットと各料金プランごとに使える機能 (デザイン: 吉田咲雪)

2021年7月に日本語化された「Notion(ノーション)」。この記事で、Notion本社公認であり、Notionの普及活動を行っているアンバサダーが、Notionの特徴や導入メリットを紹介したうえで、使い方について実際にページを作り、活用事例を示しながら解説します。

目次

1 Notionとは

2 Notionの導入メリット

- 2-1 複数の社内ツールがNotionひとつにまとまる
- 2-2 カスタマイズ性が高い
- 2-3 欲しい情報にすぐたどりつける

3 Notionのアカウント作成方法

4 Notionを使う前に知っておきたいこと

- 4-1 画面構成
- 4-2 ページ
- 4-3 ブロック

5 Notionの基本的な使い方

- 5-1 新しくページを作る
- 5-2 ページを編集する
- 5-3 ページを整理する

6 Notionを使うときに覚えておきたい活用法3つ

- 6-1 データ移行
- 6-2 ドラッグ&ドロップ
- 6-3 全体検索

7 Notionの費用

8 最初から作りすぎないのが大事

1 Notionとは

Notionとは、あらゆる情報を一元管理できる情報共有ツールです。

公式が「All-in-one workspace」を掲げており、これまで複数のツールを使い分けていてもNotionを使うことで一つのツールにまとめることができます。具体的な用途としては

- ・ チームWikiとして社内の情報を貯めておく
- ・ Trelloのようなカンバン機能でプロジェクト・タスク管理をする
- ・ ワードやスプレッドシートのような機能でメモとドキュメントを残す

ようなことに使えます。

2 Notionの導入メリット

では、実際にNotionを導入すると、具体的にどのようなメリットがあるのでしょうか。

2-1 複数の社内ツールがNotionひとつにまとまる

Notionを用いれば、ツール間をまたがらずスムーズに情報を整理することが可能になります。もちろん毎月のシステム利用費の削減にも貢献します。

2-2 カスタマイズ性が高い

Notionはツール特有の制約にとらわれず、やりたいことをそのままのイメージで実現できます。

たとえば、ホームページのようなものを、HTMLを知らなくても直感的に作ることが可能です。

また、スプレッドシートとドキュメントを行き来しなければならないような面倒な場合でも、Notionでは1ページの中に両方を配置できます。

Notionは、このように自由自在にカスタマイズできるため、使用者の教育コストがおさえられる、業務上のストレスを軽減できるといった恩恵を職場にもたらします。

2-3 欲しい情報にすぐたどりつける

Notionは情報を整理することに関して非常に長けたツールです。

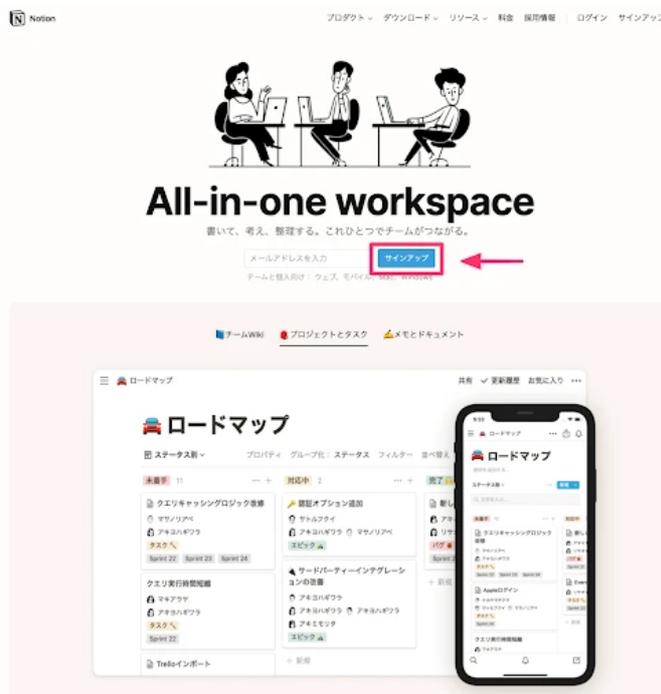
「あのファイルのURL教えて」「これについてはどこを見ればいいの?」のようなコミュニケーションを減らすことができます。

複数人で携わるプロジェクトに関する情報も、Notionを使って管理すれば、AさんとBさんのコミュニケーションがうまくいっていないために全体の進行が遅れる、といったことも避けられます。

3 Notionのアカウント作成方法

Notionを使うときは、まずアカウントを作成する必要があります。

Notionの[公式サイト](#)にアクセスし、サインアップをクリックします



①Notion公式トップページ

メールアドレスはもちろん、GoogleアカウントやAppleアカウントを利用してログインも可能です。今回はGoogleアカウントを使ってログインしてみます。



②サインアップ画面

「チームと一緒に」を選び「続ける」で次に進みます。



③用途選択の画面

チームの名前を入力し、続けるをクリックします。(後からでも変更は可能です)



④ワークスペース名を入力している様子

チームのメンバーを招待します。「Notionに移動する」をクリックします。あとからでもメンバーの招待は可能です。



⑤チームメイトの招待画面

「OK」を選択することでNotionのオンボーディングページを残すことができます。



⑥「OK」をクリックすればオンボーディングページを残せる

以上で、Notionのログインは完了です。

4 Notionを使う前に知っておきたいこと

ログインができればNotionを使えるようになりますが、その前にNotionの「画面構成」「ページ」「ブロック」についておさえておきましょう。

これらを知っておくことで、Notionの使い方がより理解しやすくなります。

4-1 画面構成

まずはNotionの全体像を理解するために画面構成をみてみましょう。



⑦Notionの画面構成

主要な機能は以下の通りです。

1. サイドバー

Notion全体に関する設定を行います。ワークスペース(チームメンバーが閲覧可能なフォルダ)とプライベート(自分だけが閲覧可能なフォルダ)があり、作成したページをこちらに置いていき、クリックすることで開くことができます

2. トップバー

現在、表示されているページに関する部分です。どのフォルダ階層にこのページがあるのかや、共有などの各種設定を行えます

3. タイトル

ファイル名にあたります

4. コンテンツ

本文にあたる部分です。テキストをはじめ、画像や動画、さらにはスプレッドシートのようなテーブルなども埋め込むこともできます

4-2 ページ

Notionでは、ファイルの1単位のことをページと呼びます。ここでは、「ページが複数集まって、フォルダで階層化されたもの」がNotionなんだ、とイメージしておいてください。

4-3 ブロック

Notionならではの特徴ですが、Notionのページは複数のブロックが連なることで構成されています。

まるでレゴブロックのように作りたいものを組み合わせ、自分たちが作りたいものを直感的に組み立ていけるイメージです。

この「ブロック」の概念は、Notionの使い方を理解していく上で非常に重要な要素となります。

先ほどのページをブロックで図解してみると、テキストブロックやチェックボックスブロックなどのブロックが連なって構成されていることが分かります。

使ってみる

- 1 🟡 ようこそ！チームでの利用を始めてみましょう。
- 2 一緒に働くチームメイトをNotionに招待します
 1. **設定** をクリックする
 2. 招待したい人に **招待リンク** を送る
 3. メールで招待するには **メンバーを追加する** をクリックする
- 3 サイドバーの **+** をクリックして、新しいページを追加します
 1. **ワークスペース**セクション内のページは、チームメンバーと共有されています
 2. **プライベート**セクション内のページは、あなただけに表示されます
 3. 右上の **共有** から他の人を招待します
- 4 サイドバーの **テンプレート** をクリックして、既成のページテンプレートを使用します
 1. **人事** から **会社のイントラサイト** を作成
 2. **このテンプレートを使用する** をクリックし、チーム用にカスタマイズ
- 5 ▶ 左側の三角形をクリックすると、Notionの簡単な使い方をご覧いただけます。
- 6 ▶ もしくはこちらで短い動画もご覧いただけます 🎥
- 7
- 8 🟡 不明な点があれば、右下の **?** をクリックして詳しいガイドをご参照ください。

⑧ブロックの図解

5 Notionの基本的な使い方

では、Notionの使い方をご紹介します。本記事では、Notionを利用する際に最も知っておきたいこととして、新しいページの作り方・編集の仕方・整理の仕方をご紹介します。

5-1 新しくページを作る

それでは新しいページを作ってみましょう。ワークスペース横の **[+]** ボタンをクリックします。



⑨ [+] ボタンはワークスペースの横

ページがワークスペース内に作られました。このページがNotionの新規ページになります。



⑩新規ページを開いたときの画面

5-2 ページを編集する

ここではページのタイトルを入力し、その後Enterを押してそのままコンテンツを書いていきます。今回は議事録を想定して書いてみます。



⑪ページ入力の様子

一般的なドキュメントツールで使用できるほとんどの表現が可能で、ショートカットを駆使しながらスラスラと表現していくこともできます。

この例で、箇条書きは「半角ハイフン→半角スペース」、見出しは「###」と打つことで表現しています。

Webリンクについては文字を入力する前に「/」（半角のスラッシュ）または「;」（全角のセミコロン）を打つことで表現を一覧から選択することができます。

「/」に続けて「web」と打つことで表現を絞り込み検索することも可能です。

Notion導入



⑫ 「/」に続けて「web」と打つことで表現を絞り込み検索が可能

先ほどNotionのページは複数のブロックが連なることで構成されていると説明しましたが、このページも次のようにブロック分けできます。

実はただの空行もブロックの種類の一つにすぎないのです。

Notion導入



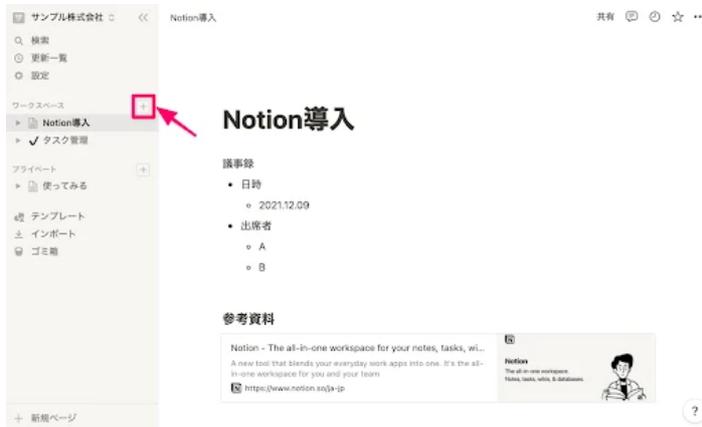
⑬ ページはブロックが連なることで構成されている

5-3 ページを整理する

この方法でページを作り続けていると、ワークスペースがページであふれてしまいます。そこで、ページを整理してみましょう。

ページに埋め込んで整理する

まずはページを整理するためのフォルダページを作ってみます。先ほどと同じ方法で新しいページを作ります。



⑭フォルダページを作るときは [+] ボタンをクリック

議事録フォルダと名付けて、先ほどの議事録をサイドバーのワークスペースからページ内へドラッグ&ドロップしてみます。



⑮フォルダページに埋め込む様子

議事録フォルダの中に先ほどのページを埋め込むことができました。

このように複数のページを埋め込むことでページでありながらもフォルダのような役割を持つページを作成することができます。

ページは、カバー画像をつけたり、アイコンをつけたり、テキストで見出しをつけたりして、わかりやすくすることもできます。



⑩カバー画像やアイコンでわかりやすくできる

よりグラフィカルになり直感的に理解できるよう整理されました。このように、Notionはページを整理することに関して非常に優れたツールです。

このページ内から新規ページを作成することも可能です。



⑪フォルダページ内に新規ページを作成



⑫「ページ」をクリック

2つ目の議事録を作成し、議事録フォルダに戻ると、狙った箇所にページができていることがわかります。



⑱ フォルダページの狙った箇所にページが追加された画面

データベースで整理する

ページの中に複数のページを置いていくような整理もできますが、Notionの真骨頂とも言える「データベース」を使ったページの整理にチャレンジしてみましょう。

データベース機能とは、複数のページを一つにまとめるフォルダのようなもので、さまざまな形(テーブルやカンバンなど)で表現できます。

それではページ内にデータベースを作成していきます。

埋め込みたい場所の [+] ボタンを押して「テーブル：インライン」をクリックします。インラインとはここでは「ページ内に埋め込む」と解釈してもらってかまいません。



⑳ [+] ボタンを押して「テーブル：インライン」をクリック

既存のページにテーブルが埋め込まれました。



② テーブルが埋め込まれた様子

テーブルの名前を入力して、先ほどの議事録をテーブルの中にドラッグ&ドロップしてみましょう



② ノートをテーブルの中にドラッグ&ドロップ

注意点としては、ドラッグ&ドロップの際、行と行の間にページを差し込むようにドロップします。



③ ドラッグ&ドロップ・OKパターン

すでにある行へドロップしてしまうと、その行の中にページを埋め込むことになってしまいます。



⑭ドラッグ&ドロップ・NGパターン

テーブル内にページをまとめることができたので、先ほどの議事録を開いてみましょう。ページ名をクリックすると開くことができます。

データベースに配置されているページには共通する項目を独自に設定することができます。この項目に相当する機能はNotionでは「プロパティ」と呼ばれます。

今回は会議日程のプロパティを設定してみます。

プロパティの種類を「日付」に変更します。



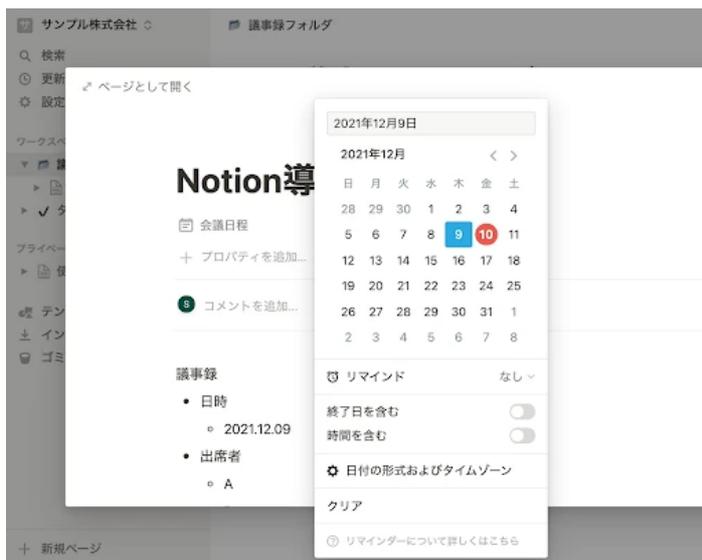
⑮プロパティの種類を「日付」に変更

プロパティの名前を「タグ」から「会議日程」に変更してみます。



②⑥ プロパティの名前を「タグ」から「会議日程」に変更

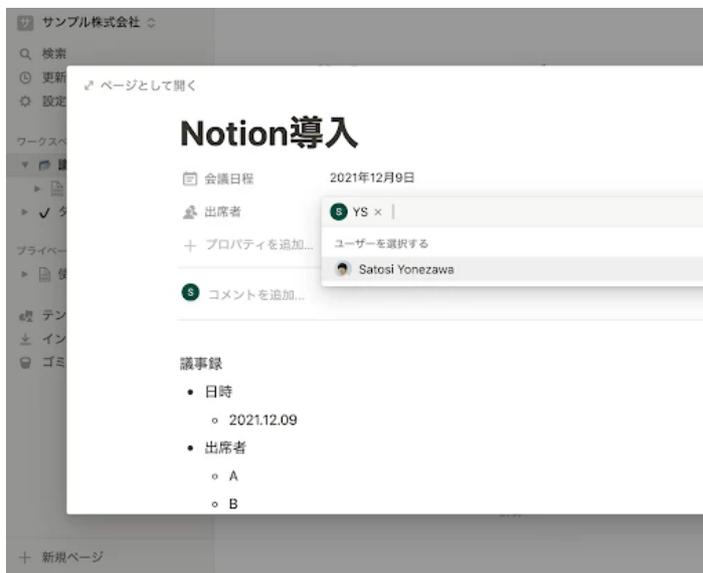
「未入力」をクリックし会議をした日付を設定します。



②⑦ 日付の設定

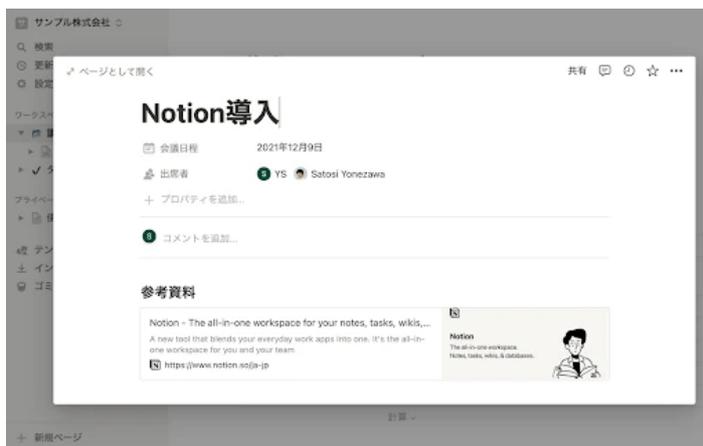
加えて出席者のプロパティも追加して、会議の参加者を選択してみましょう。

プロパティの種類にはユーザーを選択します。「あの人のメールアドレスなんだっけ...」とはならず、メンバーの候補一覧が出てくるのがNotionの長所です。



⑳メンバーの候補一覧が出てくる

このように会議日程や出席者のプロパティを設定することで、議事録の本文がスッキリしました。



㉑プロパティ設定後の画面

先ほどの議事録フォルダに戻ると、このように一覧表示で見れるようになっています。

一覧にあるページは全て同じプロパティが設定されるので、共通項目の入力の統一化などが期待できます。



㉒フォルダページに一覧が表示される

以上、データベース導入の事例を紹介しました。

Notionにおいて「データベース」は非常に強力な機能になります。本記事では深く解説しませんが、データベースの活用がNotionの活用を握ります。

テーブル形式のデータベースだったものをカンバン形式で表示させたり、データベースのとある項目を別のデータベースと連携させたりと、使えば使い込むほど奥深い機能なのでNotionに慣れたところにチャレンジしてみてください。

6 Notionを使うときに覚えておきたい活用法3つ

次に、Notionを使うときに覚えておくと便利な活用法を3つご紹介します。

6-1 データ移行

今まで使っていたツールが手放せないという方でも大丈夫です。

Notionには移行機能が用意されています。「インポート」からクリックをしていくだけでNotionにデータがスムーズにインポートされます。



③さまざまなデータをインポートできる

6-2 ドラッグ&ドロップ

Notionはドラッグ&ドロップを用いて直感的にレイアウトを配置することが可能です。

画像ブロックにカーソルを合わせ[+]の右にある[::]を掴むことでドラッグ&ドロップができます。

この例では、ページの右端に画像をドロップすると二段組にすることができます。もちろん画像のサイズ調整や上下の位置の入れ替えなども自由自在です。

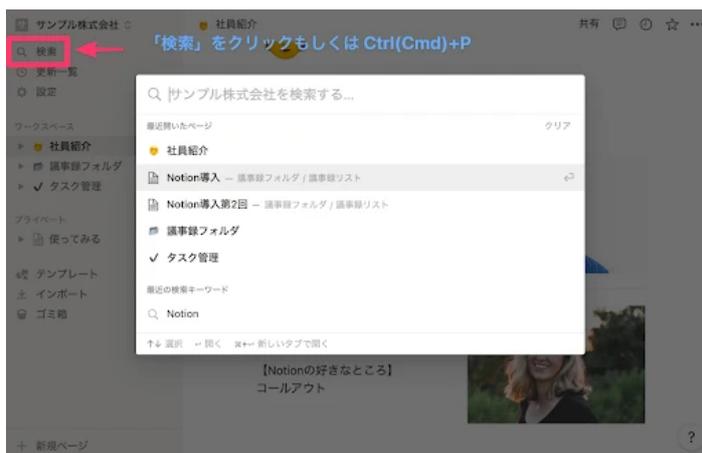


③ドラッグ&ドロップで直感的に操作可能

6-3 全体検索

Notionには全体検索機能も用意されています。サイドバーの「検索」をクリック、もしくは Control(Command) + P で検索をすることが可能です。

Notionは情報が整理されているので「探したいページを検索する」というよりは「あのページにジャンプしたい」という用途で使われることが多いです。



③全体検索機能で特定のページにジャンプ

7 Notionの費用

チームで使うのであれば1ユーザー月額\$8(月払いの場合\$10)の費用です。試用期間があり、クレジットカードの登録なども必要なく、一定のブロック数に達するまで利用することが可能です。

個人であれば無料で使えますが、ゲスト数の制限・ファイルサイズの制限などがあります。

パーソナル	パーソナルPro	チーム	エンタープライズ
<p>日々のあらゆる作業を整理 整理するために。</p> <p>Free</p> <p>個人向け</p> <p>始める</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ ページ数とブロック数が無制限 ✓ 5人のゲストとの共有 ✓ デバイス間での同期 ✓ API (Beta) 	<p>より多くのことを達成したい。 パワーユーザーのために。</p> <p>\$4 / ユーザー/月 \$48 年料</p> <p>無料で試す</p> <p>パーソナルプランのすべての機能に加えて</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 無制限のファイルアップロード ✓ 無制限のゲスト ✓ 30日間のバージョン履歴 	<p>チームを無料で招待する</p> <p>チーム</p> <p>ひとつの場所で、一緒に働きたいチームのために。</p> <p>\$8 / ユーザー/月 \$96 年料</p> <p>無料で試す</p> <p>パーソナルProプランのすべての機能に加えて</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 無制限のチームメンバー ✓ 同時編集が可能 ✓ 共有許可 ✓ 管理権限機能 	<p>法人利用に適した管理機能とサポート。</p> <p>お問い合わせ</p> <p>チームプランのすべての機能に加えて</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ SAML SSO ✓ ユーザープロビジョニング (SCIM) ✓ 高度なセキュリティ設定 ✓ 無制限のバージョン履歴 ✓ 専用のサクセスマネージャー ✓ カスタム契約

③Notionの各プランと使える機能 Notion公式サイト の料金ページより引用

8 最初から作りすぎないのが大事

Notionはカスタマイズ性が高く、なんでもできすぎるゆえに最初から作りすぎないことが大事です。

具体的には、ページの階層は浅くする、データベースのプロパティは増やしすぎないあたりがポイントです。

データベースの活用法がわかってくると「あれもこれもNotionで実現できちゃうのでは？」という場面が増え、そこからNotionの真の醍醐味を味わえることでしょう。

この記事を書いた人



米澤 聡

Fire Cracker株式会社 代表取締役

北海道生まれ札幌市在住。ソフトウェアエンジニア。北海道大学情報科学院を修了後、Sler、クラウド / IoTベンチャー、フリーランス、ヘルスケア系スタートアップ共同創業者を経て、ITスタートアップを起業。DX支援と新規事業開発のほか、NotionアンバサダーとしてNotionの普及活動に注力。最高の体験を届けるためにフェスを運営することが目標。

[米澤聡の記事を読む](#)

朝日新聞社が運営する「ツギノジダイ」は、中小企業の経営者や後継者、後を継ごうか迷っている人たちに寄り添うメディアです。さまざまな事業承継の選択肢や必要な基礎知識を紹介します。

さらに会社を継いだ経営者のインタビューや売り上げアップ、経営改革に役立つ事例など、次の時代を勝ち抜くヒントをお届けします。企業が今ある理由は、顧客に選ばれて続けてきたからです。刻々と変化する経営環境に柔軟に対応し、それぞれの強みを生かせば、さらに成長できます。

ツギノジダイは後継者不足という社会課題の解決に向けて、みなさまと一緒に考えていきます。

